

## 【中学校】

### ◆数学に関する調査結果の分析

平均正答率 53%

### 良好であった内容

- 多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の意味を理解していること 【知識・技能】
- 証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解していること 【知識・技能】

### 課題があった内容

- 目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明すること 【思考・判断・表現】
- 筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明すること 【思考・判断・表現】

### 学習改善のポイント

事柄が成り立つ理由を、構想を立てて根拠を明確にして説明したり、成り立つ理由を数学的に説明したりするような活動を充実させていくことが大切です。

☆数量や図形などの性質を見だし、統合的・発展的に考察できるようにしましょう。

☆図形領域では、説明の見通しや構想を立てる際、同じ長さの辺や、同じ大きさの角に、印や記号を付けることで、図形の性質や構想を立てる一助にしましょう。また、他者との話し合いを通して、前提となる条件、正しいと認められた事柄、説明しようとする事柄を明らかにし、図形の性質や関係を論理的に考察し、表現できるようにしましょう。